

参考「次世代のための民間運動～ワーク・ライフ・バランス推進会議～」について

1. 設置の趣旨

少子高齢化と人口減少、グローバル化、価値観の多様化という社会経済構造が大きく変化する中、ワーク・ライフ・バランスが新しい時代への対応策の一つとして求められている。「次世代のための民間運動～ワーク・ライフ・バランス推進会議～」は、こうした現状を変革し、新しい時代の新しい生き方を広く提案・普及することを目指し、2006年8月に発足した。「ワーク・ライフ・バランス推進会議」では、「働き方」と「暮らし方」双方の改革を図り、「調和のとれた生活」の実現を図る運動を進めている。ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、社会的な啓発・普及を進めるとともに、企業における具体的な実践を支援する活動を展開している。

2. 当面の取組みのねらい

- (1) ワーク・ライフ・バランスの実現のため、とくに多くの問題が集中する「働き方の改革」に重点を置いて、社会的な啓発や企業等に対する支援を行う。
- (2) 生活に関わる問題では、子育て支援がもっとも緊急的な課題となることから、これに関する各種の支援情報を総合的に提供できる体制を持つ。
- (3) 地域における実践のあり方を考えるため、首都圏の数箇所の市と提携して、地域におけるワーク・ライフ・バランス普及活動への参加や共同での事業実施を行う。
- (4) ワーク・ライフ・バランスに関する議論の輪を広げるため、企業の労使をはじめ、多くの団体や組織においてテーマとして取り上げてもらう機会を増やす。

3. 推進体制

- (1) 推進委員
運動を実践展開していくための中心的な体制として「推進委員会」を設置。メンバーは11名。
- (2) その他
推進委員の他に、この運動の趣旨に賛同する各界の有識者（現在のところ約70名）に協力を呼びかけて運動を進めている。

4. 具体的な活動内容

- (1) 「ワーク・ライフ・バランスの日」（11/23）、および「ワーク・ライフ・バランス週間」（2009/11/22～11/28）の呼びかけ
- (2) 「ワーク・ライフ・バランス大賞」の実施（組織活動、普及支援活動、標語部門）
- (3) 「ワーク・ライフ・バランス・コンファレンス」の開催（2009年は11月16日に開催予定）
- (4) 「ワーク・ライフ・バランス実践ハンドブック～組織のイノベーションを起こす風土づくり」の作成
- (5) ワーク・ライフ・バランスに関する委員会の設置
「ワーク・ライフ・バランスと地域の人づくりを考える会」「ワーク・ライフ・バランスと質の高い社会を考える会」など地域活性化や社会全体での生産性の観点を含めて考える会を発足。
- (6) 地域での実践展開
ワーク・ライフ・バランス・アドバイザー養成支援、地元企業に対するワーク・ライフ・バランス・コンサルティング支援、地域におけるワーク・ライフ・バランス推進のための場づくり など
- (7) ホームページ「次世代ネット」(<http://www.jisedai.net/>)を通じた情報提供

以 上